製造業のビジネスチャンスが見える モノづくり最新情報サイト じゃぱんお宝にゅ~す

https://japan.otakaranews.com

じゃばかお皇にゆ~す

モノづくり現場の未来を見つめる 製造業応援サイト じゃぱんお宝WEB新聞

日立建機 ICTデモサイトを茨城県土浦市に移転

ICT施工体験の機会創出および製品開発部門との連携強化 ICT施工ソリューション Solution Linkageの開発にも活用

ICT施工ソリューション 顧客に体験機会創出

日立建機は、このほど常陸那珂工場 の「日立建機ICTデモサイト」を茨城 県土浦市に移転する。

移転後のICTデモサイトは、2023年 4月からの稼働を予定。従来以上にICT 施工ソリューションを体験する機会の 創出、また、ICT建機やICT施工ソリュー ションの開発部門との連携強化も見込 んでいる。

顧客が体験可能 ICTデモサイト

ICTデモサイトは、ユーザーや業界 関係者などが、国土交通省が推進する i-Constructionへの理解を深めたり、I CT施工を体験するため、2016年10月 に常陸那珂工場敷地内に開所した。こ れまでユーザーから日立建機のICT施

工関連の製品・ソリューションに直接 フィードバックを行う場として活用し てきたほか、近年は、顧客や業界関係 者のみならず、ICT施工に関する社内 研修、ICT施工ソリューション「Soluti on Linkage | シリーズの開発などにも 活用してきた。

また、2018年4月には「日立建機 香川 ICTデモサイト」も開所し、国内の2拠 点でICT施工に関する周知を推進して

建設現場で加速する ICT施工の浸透に貢献

国土交通省 2021年4月1日報道発表 資料「建設現場の更なる生産性向上に 向けて~令和3年度i-Constructionの 主な取り組みについて~」によれば、 ICT施工を複数回活用したことがある 企業は6割を超えており、i-Constructi onの取り組みは全国に拡大しているも のの、中小規模の企業へのICT施工の 浸透が今後の課題となっている。

今回の移転により、都心からのアクセ スがよくなるため、より多くの顧客に ICTデモサイトへの来場が可能になる。 また、ICT建機やICT施工ソリューショ ンは、主に土浦市の拠点で開発を行っ ているため、デモサイトと距離が近く なることで、製品やソリューションの 開発部門との連携強化も期待できる。

地域と一体で 教育施設開所

土浦市では、公共施設跡地の利活用 を推進しており、日立建機のICTデモ サイトの移転先として、土浦工場に近 い山ノ荘(やまのしょう)小学校の跡地 を有効活用することになった。

このほかにも、日立建機グループでは、 2022年4月より、連結子会社である日 立建機日本株式会社の新人サービス員 向けの教育施設として、上大津西(か みおおつにし)小学校の跡地に教育施 設を開所している。

今後の取り組み

日立建機グループは引き続き"地球 上のどこでもKenkijinスピリットで身 近で頼りになるパートナー"をめざし、 地域社会に根差した企業活動を推進す

各々の顧客ニーズに沿ったICT・IoT ソリューション「Solution Linkage」 を提供することで、顧客の課題である 「安全性向上」「生産性向上」「ライ フサイクルコスト低減」に貢献する。

■日立建機ICTデモサイトの概要 正式名称:日立建機ICTデモサイト

所在地:茨城県土浦市本郷303番地 外 アクセス:常磐自動車道 「土浦北イ ンターチェンジ」から車で約10分

JR常磐線:土浦駅から車で約30分

敷地面積:約36,220㎡ 使用面積:約11,050㎡

事業内容:国土交通省の推進する、全 ての建設生産システム全体の生産性向 上を図る「i-Construction」に対応す るため、ICT施工の導入を検討する顧 客などに対して、ICT施工に関するデ モンストレーションや基礎講座を実施

■日立建機について

日立建機は、油圧ショベル、ホイール 発・製造・販売・サービスの事業をグ ローバルで展開している建設機械メー カー。新車販売以外の事業である部品・ サービス、レンタル、中古車、部品再 生などの「バリューチェーン事業」の 強化に注力し、デジタル技術を活用す ることで、顧客とのあらゆる接点にお いて提供するソリューションを深化さ せている。世界に約25,000人の従業員 を擁し、2021年度(2022年3月期)の連 結売上収益は1兆250億円、海外売上 収益比率は約79%を達成している。

(※資料提供:日立建機)

